

## これって どうなの??

### 車内編

**名**

前も勤務先も知らない人たちと、通勤電車で毎朝顔をあわせていると何か親近感を覚え、密かにニックネームをつけてしまう。

有楽町で降りる『シャネルさん』は、髪留めから靴にいたるまで全身をシャネルでコーディネート。さすが銀座にお勤めだけあると感心しつつ



片やわくに鏡を覗き込んで、電車内でも自宅のドレッサーにした。甘茶沿線でもく見かけた『メイクさん』(46分60代)。

イラスト・文/安彦麻理絵

つも、毎日、毎日シャネルづくしでトータルおいくら?と値踏みしてしま

その他にも、『フリルさん』『ムーミンママ』などなど。かくいう私はよく言えば『ふくよかさん』、悪く言えば『ブーさん』であろうか。

引く奥様が。なんと、奥様は毎日見かける彼女ではない!!  
そういえば、「日曜日は何してたの?」と聞く彼女の声が蘇った。平凡な通勤電車に、不倫現場が……。

『眠り姫』は、今日も大きなバッグを持参。席に座るやいなやバッグから首を固定する枕をとりだし、すぐに目を閉じる。ときどき口をあけて寝る姿は、ちよつと残念。誰しも自分の寝姿だけは、見ることができない。

車内には、仲良く通勤しているカップルもいる。新婚さんなのかなと思うほど、車中で会話が弾んでいる。休日のこと。買い物に出かけた私は、ベビーカーを押す彼に遭遇した。その隣には、小さな子供の手を

刺激的なもの変わった瞬間だった。小さな箱に、たくさんの人の人生とドラマがまつているのを感じる今日この頃である。 (事務局長山橋由貴子)



### のんちゃん

### おすすめスポット紹介

都会の喧騒を忘れ、  
本の世界に没頭する



東京・渋谷。最近では、ハロウィーンの時など、スクラブル交差点でのお祭り騒ぎがよくニュースになりますので、ご存じの方も多いでしょう。そんな何かと騒々しい渋谷の街に、喧騒を忘れてホッと一息つけるブックカフェがありました。その名も「森の図書室」。

雑居ビルの3階に中の見えないドア。少々躊躇しながらインターホンを押すと、店員さんの「少々お待ちください」の音が……。ドアを開けるとさらに本棚のドア。その奥が店内です。

まるで忍者屋敷か、秘密の隠れ家に入っていくようなワクワク感です。

「図書室」というだけあって、天井まで本がぎっしり。もちろん、借りて帰ることもできます。(おすすめ本は会員のみ貸出可) ふだん手に取らないような本も読んでほしいと、あえて作者名やジャンルで分けて、ランダムに置かれています。飲み物や軽食もとれますが、雰囲気はまさに「大人の図書室」。じっくりと本の世界に没頭することができます。新しい本との出会いを求めて、ぜひ足を運んでみてはいかがでしょうか。



コースターの裏には本の紹介文が書かれている

### 森の図書室

住 所 ■ 東京都渋谷区円山町5-3 萩原ビル3F  
営業時間 ■ お昼 11:00 ~ 17:00  
平日 18:00 ~ 24:00  
金、土、祝前日 18:00 ~ 26:00  
定 休 日 ■ 不定休